

インフォシスと Celonis、グローバルな ERP モダナイゼーション およびビジネス・プロセス最適化において提携

バンガロール(インド)、ニュー・ヨーク・シティ(米国) – 2020年6月8日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである[インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、ERP モダナイゼーションおよびビジネス・プロセス最適化の実現に向けて、AI を使用したプロセス・マイニングおよびプロセス・エクセレンス・ソフトウェアのマーケット・リーダーである [Celonis](#) とのグローバル・パートナーシップを発表しました。今回の新しい提携により、顧客は運用コストを大幅に削減しながら長期的な変革プロジェクトに着手できるようになります。さらに、込み入ったテクノロジー・ランドスケープ、レガシー・システムと自社開発システムの混在、デジタル変革の計画を脅かす運用のサイロ化、といった課題を克服できます。

インフォシスと Celonis は、企業による SAP S/4HANA および SaaS プラットフォームの採用拡大を支援することで、企業のデジタル・ニーズを実現します。インフォシスは、Celonis 独自の機能を活用して、自動化と最先端のテクノロジー・プラットフォームの構築によってビジネスの卓越性を推進し、生産性を向上させます。

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼エンタープライズ・アプリケーション・サービスのグローバル責任者 Dinesh Rao は次のように述べています。「この時代において、将来の「ディスラプション（破壊）」に向けて準備をしながら、既存ランドスケープのかじ取りをしている企業にとって、最も差し迫って必要なのは「ビジネス・レジリエンス（回復力）」です。コアのデジタル化は企業にとって重要な要素となるでしょう。インフォシスの業界トップのデジタル・プロセス自動化知識と Celonis 独自の AI 機能の組み合わせることで、ERP モダナイゼーションとビジネス・プロセス最適化を促進します。企業システム管理、AI およびデータ駆動型アプローチに関する専門知識によって、顧客のデジタル・トランスフォーメーション・ジャーニーの次段階への移行を支援できると確信しています」

Celonis の共同創設者兼共同 CEO の Bastian Nominacher 氏 は次のように述べています。「Celonis Intelligent Business Cloud は、リアルタイム・トランザクション・データ収集、ビジネス・コンテキスト、機械学習、プロセス自動化を組み合わせ、より円滑でインテリジェンスな成果志向の運用ができるように顧客を支援します。インフォシスとのパートナーシップにより、顧客は地域や言語を越えて複雑な事業部門、テクノロジーの多様性を管理できるようになります。その結果、ERP およびビジネス・プロセス最適化の変革に関して、総所有コストを削減することができます。インフォシ



ス・チームと世界規模でパートナーシップを構築し、顧客のためにノイズのないテクノロジーおよびプロセスの卓越性を提供できることを楽しみにしています」

Celonis について

Celonis は、AI を活用したプロセス・マイニングおよびプロセス・エクセレンス・ソフトウェアのリーダーです。同社の Intelligent Business Cloud では、運用上の問題をリアルタイムで感知し、インテリジェントなアクションおよび自動化を可能にすることによって、企業が AI を活用できるようにします。リアルタイムのトランザクション・データ収集、ビジネス・コンテキスト、機械学習およびプロセス自動化を組み合わせ、Celonis の顧客は希望の成果を得るために運用を最適化できます。Siemens、Uber、3M、Airbus、Vodafone など世界中の企業が超流動企業構想を採用するようになり、Celonis の能力を活用して業績を向上させ、多額の収益を得ています。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーで、46 国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイル・デジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。

リンク先 <http://www.infosys.com> では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2018 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。



お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email jo_ando@infosys.com